

土壤断面写真 (A試験地)

A-1+



A-1-



A-2+



A-2-



A-4+



A-4-



A-ST



土壤断面写真 (B試験地)

B-2+



B-2-



B-3+



B-3-



B-4+



B-4-



B-ST



菌糸体「しろ」



O層



鈇質土壤(A層・B層・C層)

- ・試験区の土壤採取中に確認された。

分析方法

pH(H₂O)

pH(KCl)

EC

O層-1:10

A層以下-1:2.5

pHメータ・ECメータにて測定

現地水分量

40°C風乾

2mm以上レキ含有率

ふるい

置換酸度

常法

KCl抽出Al

誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP)

H₂O抽出Al・Ca・Mg・K・
Na・Fe・Mn・Cu

誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP)

CEC

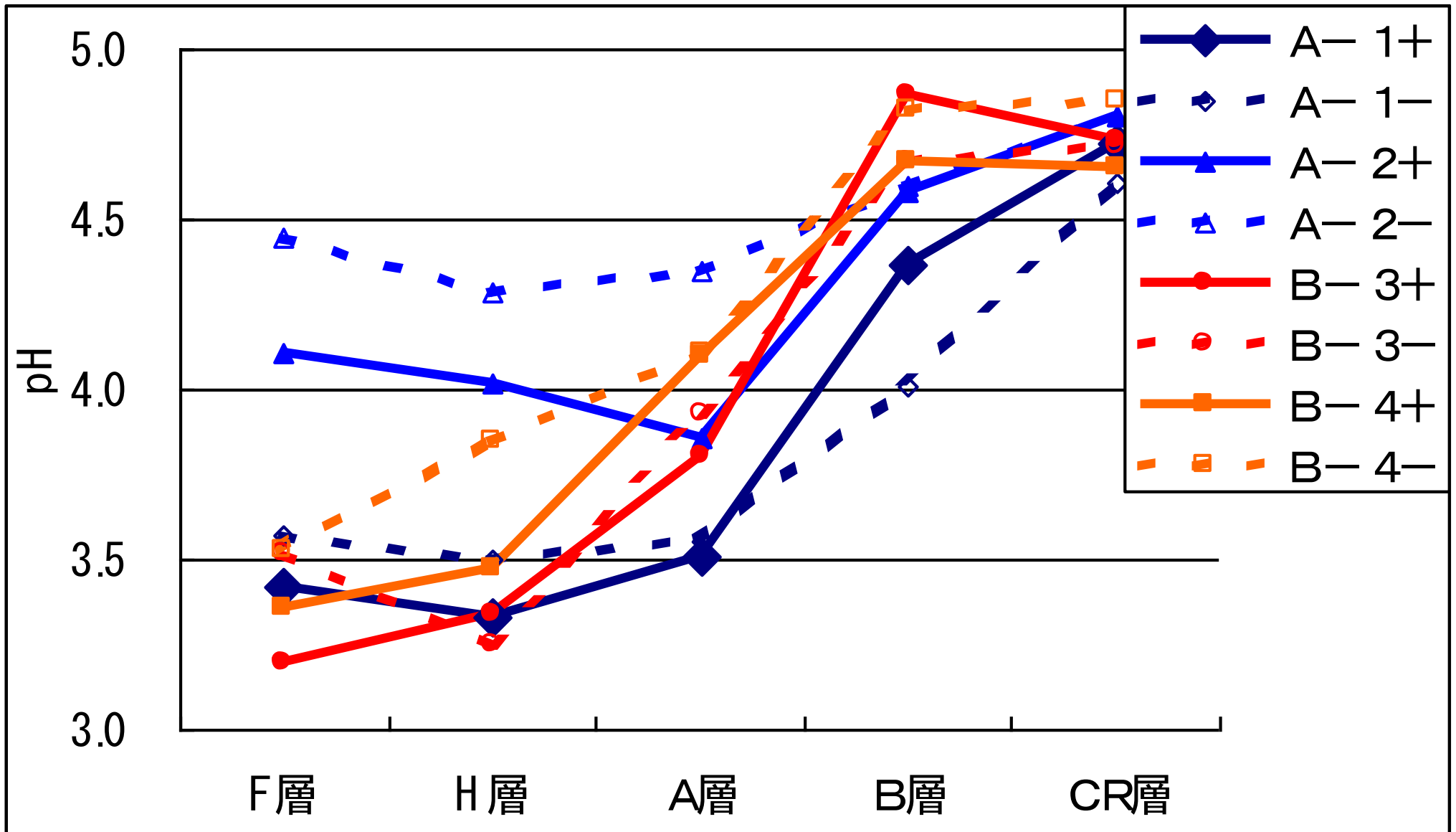
常法(ショーレンベルガー法)

交換性Ca・Mg・K・Na

原子吸光光度計

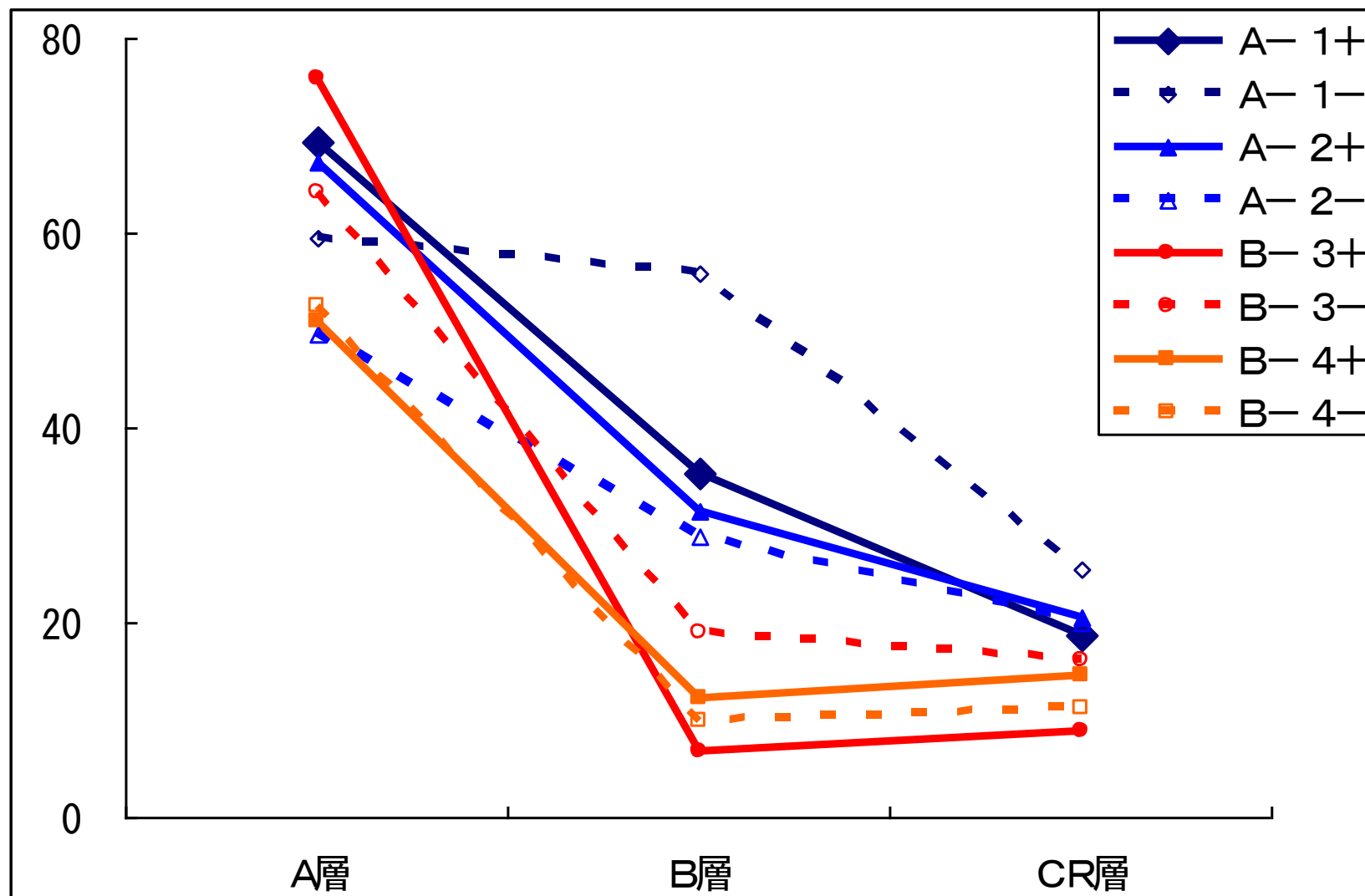
pH(H₂O)

全体として強酸性・一区のpHは高い傾向



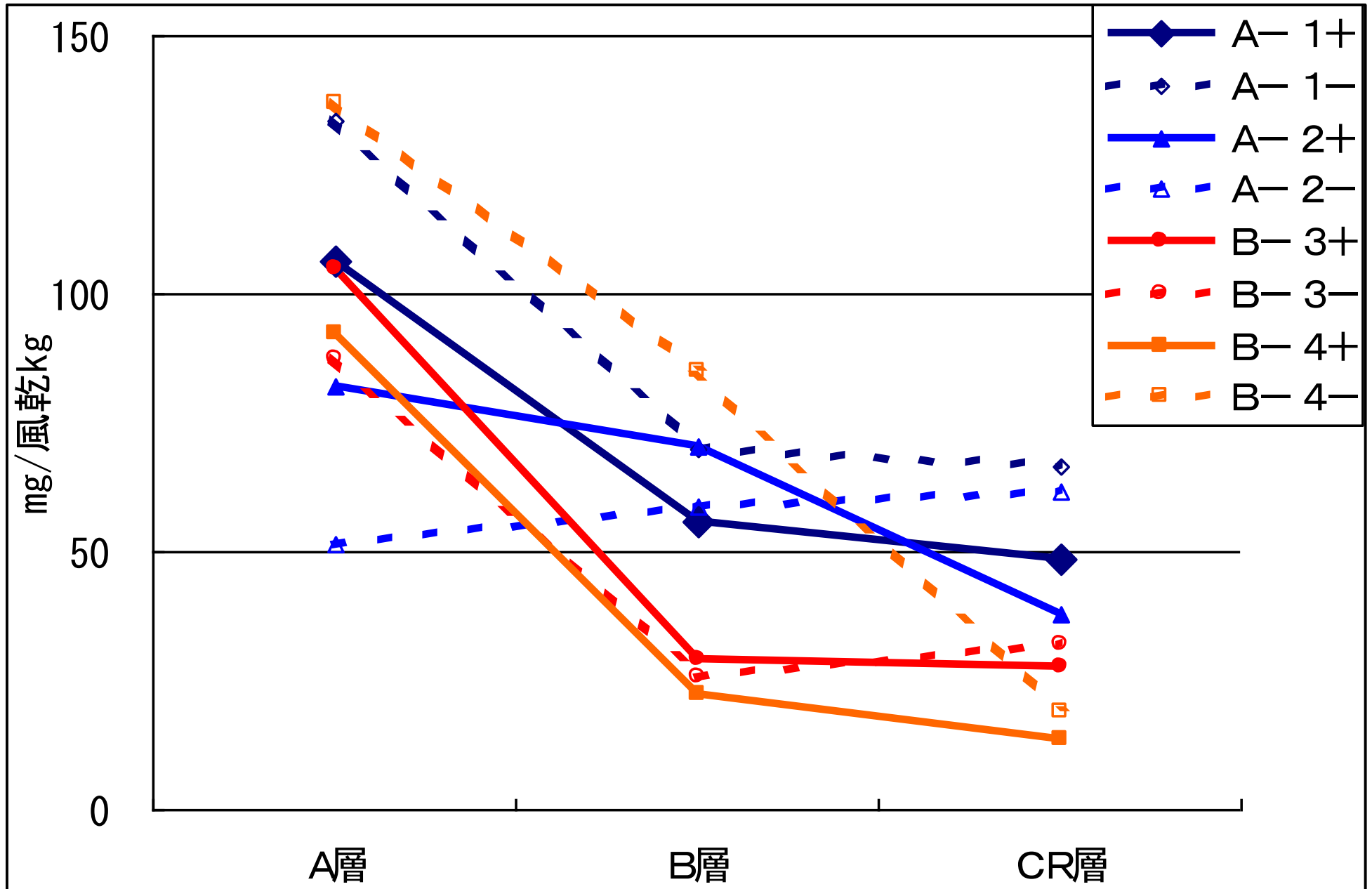
交換酸度

A層で非常に高い。試験区間の差は小さい。A地点はB地点より下層土の酸度が高い。



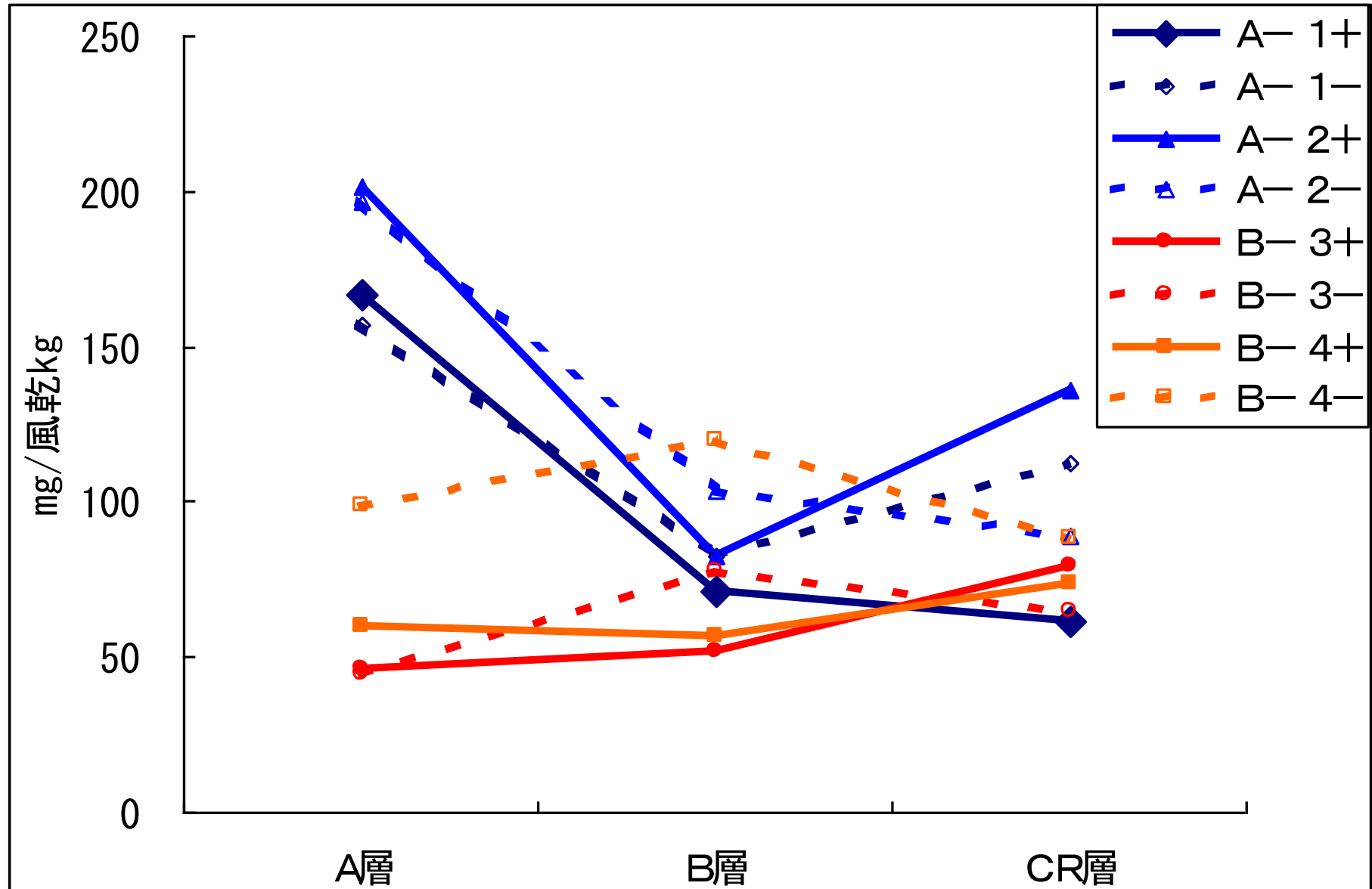
交換性Kイオン

非発生(-)区で高い傾向



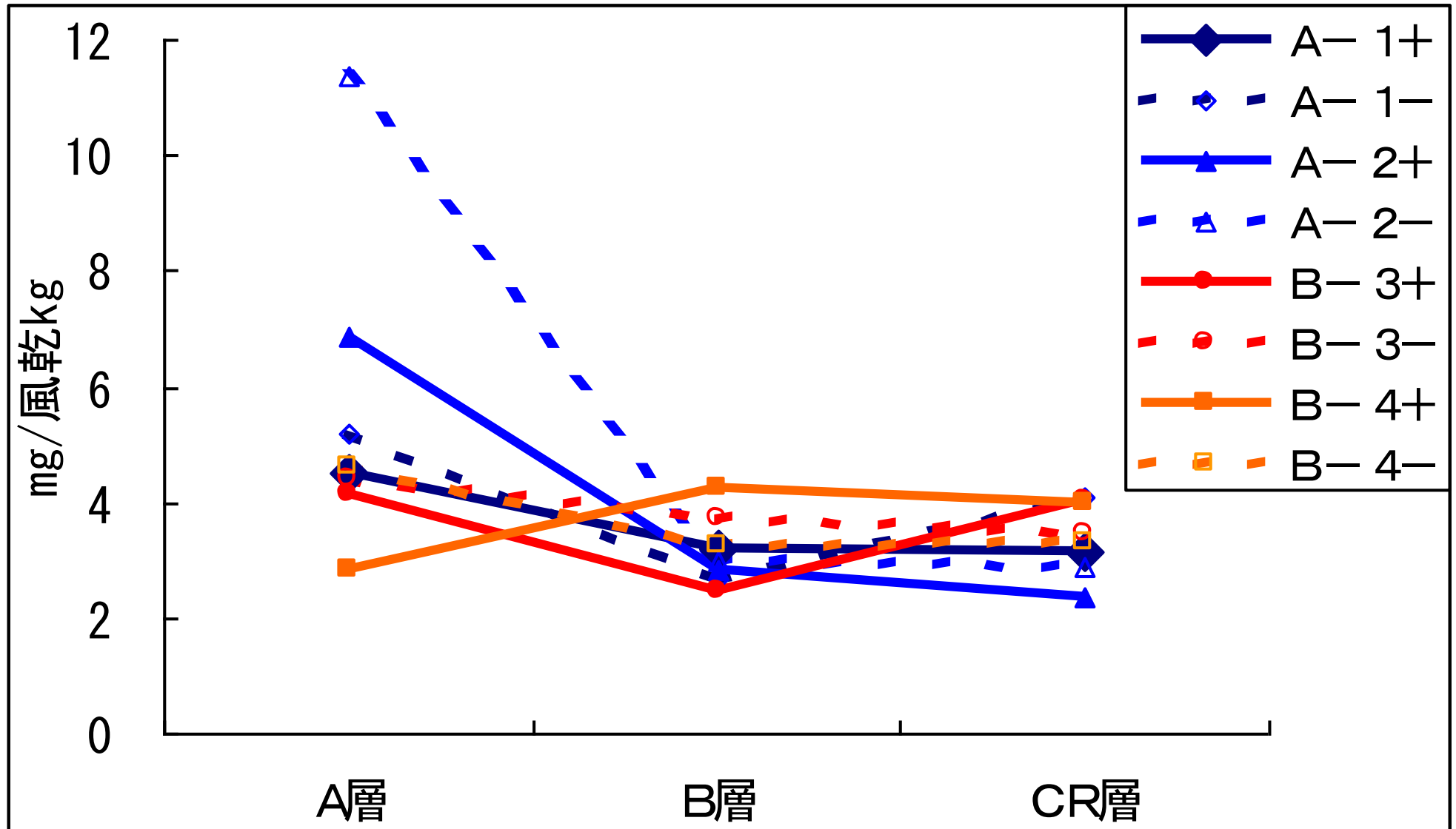
交換性Caイオン

A地点で高い傾向。+と-区
の違いは少ない。



H₂O抽出Ca

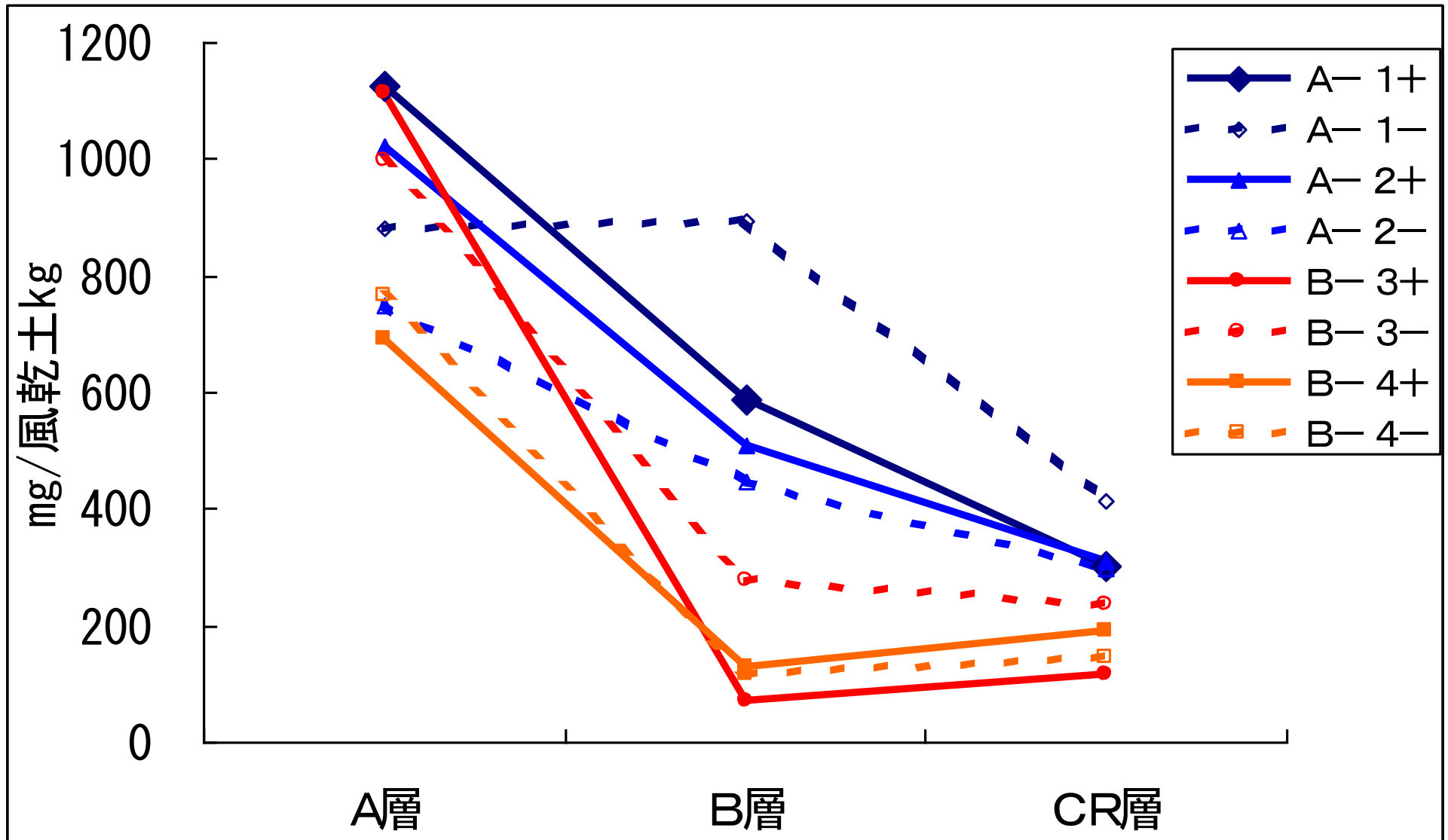
A層において一区>+区



KCl抽出AI

A層B層で高い。

+と-における共通した傾向は見られない。



結論

- マツタケ発生適地内のマツタケの生える地点(試験区)と生えない地点(対照区)の土壌分析値には顕著な違いは認められなかった。
- 交換性K Ca、pH(H₂O)等は対照区(一区)で高かった。

対照(非発生一)区はやや富栄養的。
他に菌根学的・ミクロな土壌学的要因？